

まちなかウォークアブル推進事業に係る 対話型説明会

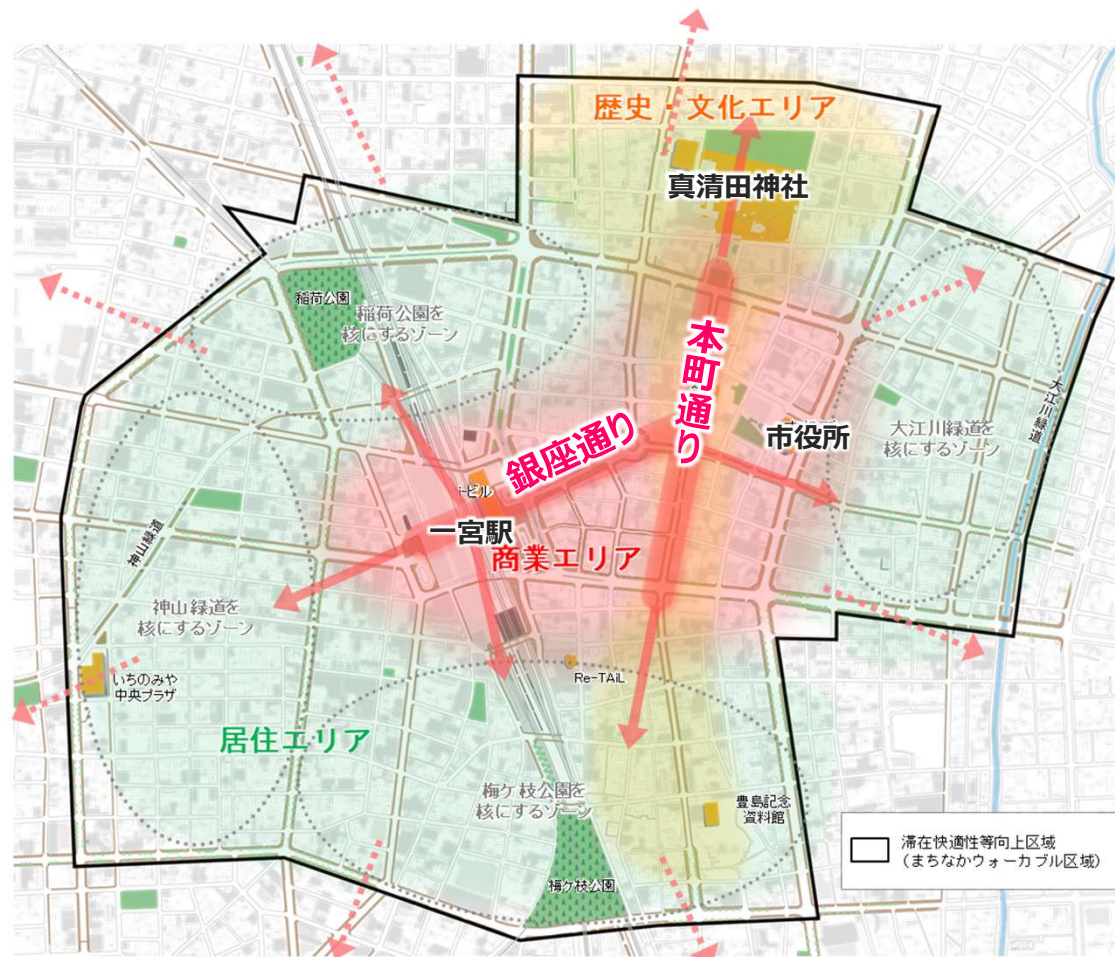
2026年2月24日

一宮市都市計画課

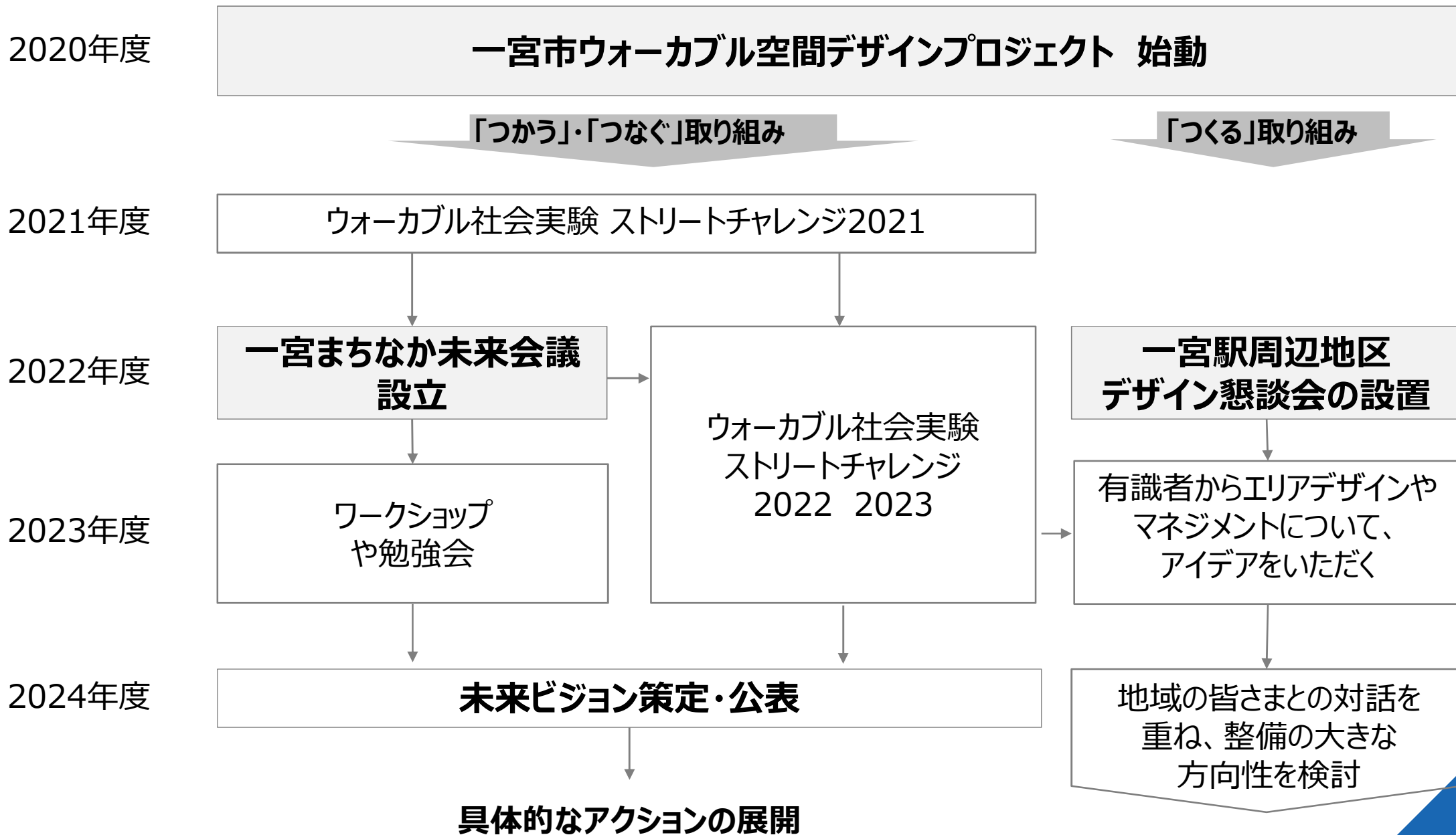
1. これまでの経緯

まちなかウォーカーブル推進事業について

- 一宮駅周辺において、人が主役となれるよう居心地が良く歩きたくなる空間づくりを民間と行政が一緒になって取り組む一宮市ウォーカーブル空間デザインプロジェクトを推進しています



これまでの取り組みについて

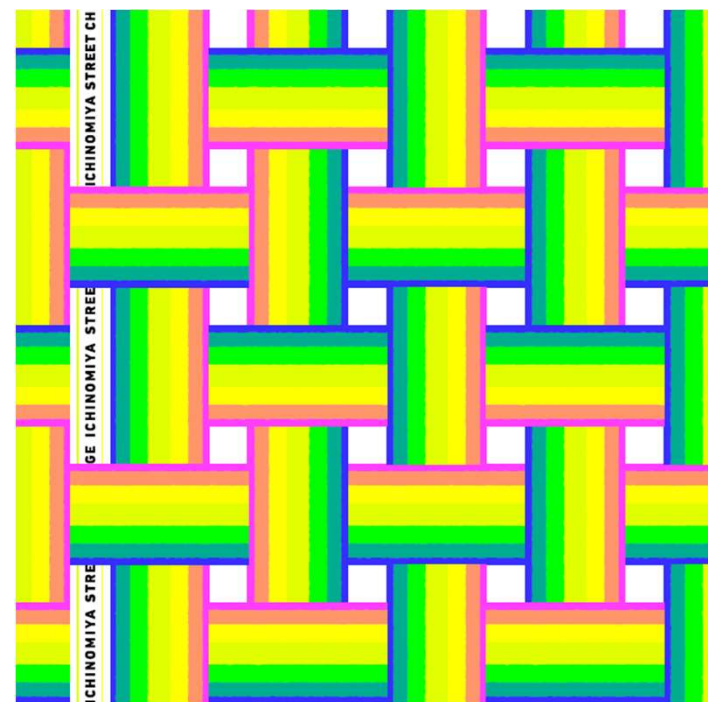


まちなかウォークアブル社会実験(2021-2023)

活動の巻き込みとまちなかのポテンシャルの再発見



滞在性の向上が人通りを生む



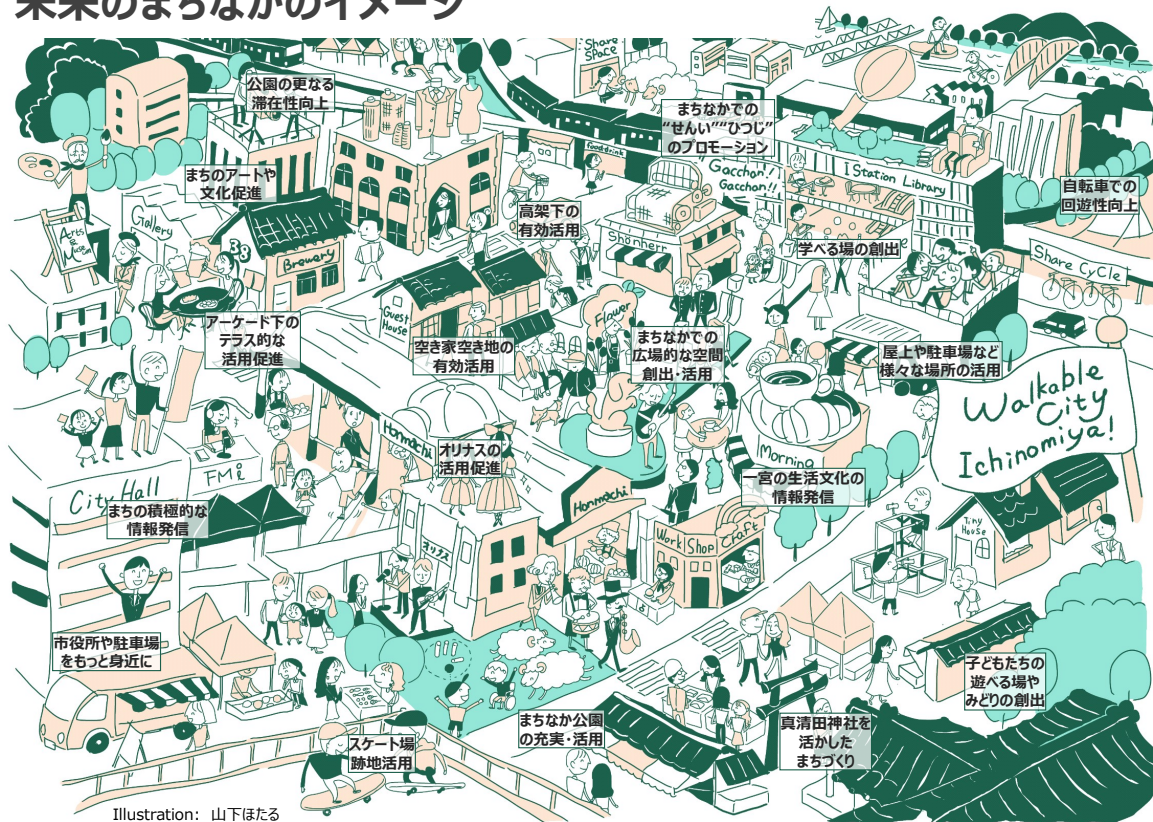
まちなかウォークアブル社会実験
ストリートチャレンジ

- 2021年には19団体、2022年には約30団体に拡大
- 歩行者数は2021年で9千人、2022年では倍の1万8千人に
- 2022年はプログラムの売上が1,000万円に

一宮まちなか未来会議による未来ビジョンの策定

- ①まちなかに関わる様々な主体が、まちなかの望ましい未来を議論し、共有し、連携すること
- ②まちなかのこれからの変化や期待を市内外の多くの方に知ってもらい、興味を持ち、関わってもらうこと
- ③まちなかの取り組みと変化を記録し、新たな展開に柔軟に対応しながらその活動を発信すること

未来のまちなかのイメージ



本町通りエリアビジョン イメージ



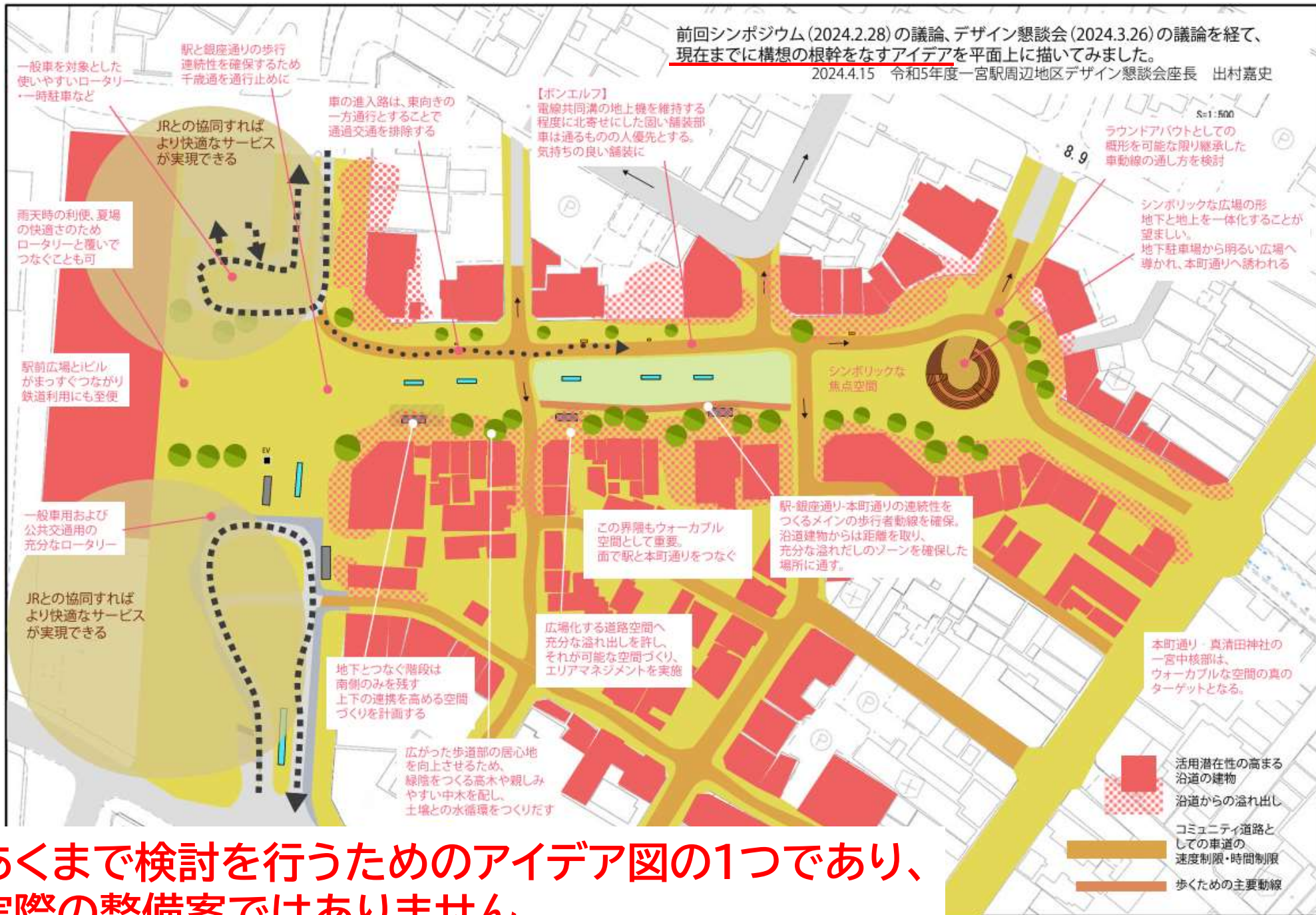
銀座通りエリアビジョン イメージ



銀座通りの整備検討（2024年度）

前回シンポジウム(2024.2.28)の議論、デザイン懇談会(2024.3.26)の議論を経て、現在までに構想の根幹をなすアイデアを平面上に描いてみました。

2024.4.15 令和5年度一宮駅周辺地区デザイン懇談会座長 出村嘉史



あくまで検討を行うためのアイデア図の1つであり、
実際の整備案ではありません。

対話型説明会（2024年度）

< 整備の進め方 >

構想

—— まちなかが目指すべき姿、
デザインの考え方など
有識者から提案をいただく

方向性の
共有

—— 地域の皆さまとの対話を重ね、
整備の大きな方向性を共有

事業化

—— **皆さまと大きな方向性を
共有できた段階で移行**

計画設計

—— 社会実験を行いながら、詳細な
デザインを検討
引き続き議論し検討を実施

工事

まちなかの未来を
一緒に考えませんか？

一宮駅周辺ウォークブル推進事業
対話型説明会を開催します

第1回 2024年8月27日（火）

第2回 2024年10月20日（日）

- プロジェクトの目的と意義
- デザイン懇談会の提案と検討課題
- 意見交換

第3回 2024年11月19日（火）

第4回 2024年11月23日（土）

- いただいたご意見の共有
- ご意見を踏まえた検討状況の報告
- 意見交換

第5回 2025年1月30日（木）

- 今後の銀座通りの検討方針の報告

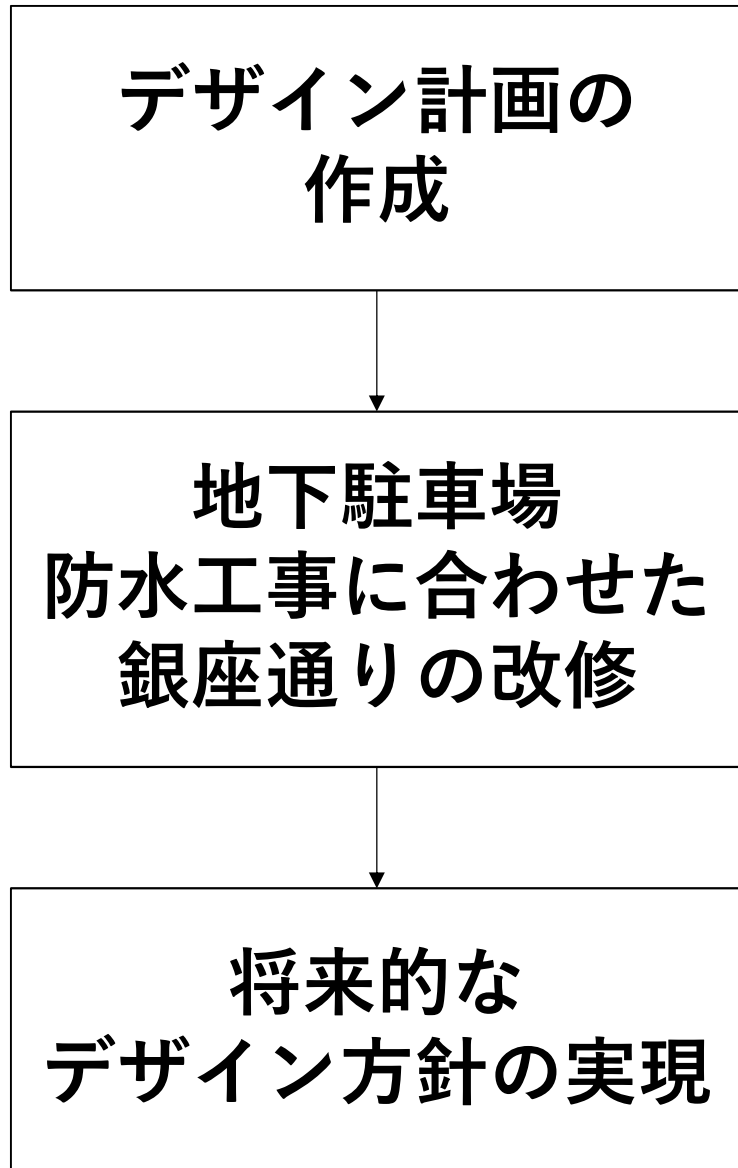
銀座通りの整備の前提条件（2024年度末）

- 20年先を見据えたまちづくりに向け、地域のみなさまが主体的に暮らし賑わいを再生するための取組を継続していきたい
- ただし、地下駐車場の老朽化対策（漏水対策など）を早急に実施する必要
- これまで対話型説明会等で議論を重ねてきたが、空間再編について否定的な意見もあり、**地下駐車場の老朽化対策に合わせて、銀座通りを大幅に空間再編することは困難と判断**



**現在の道路構成のまま、
道路空間を最大限に利活用していくための
デザインやマネジメントを検討**

銀座通りのデザイン検討の考え方



- 中長期的なデザイン方針の検討
- デザイン方針をもとに整備内容を検討、実施
- すべてのデザイン方針を実現できるかは今後検討

銀座通りのデザイン検討の前提条件

事業範囲：**銀座通り（一宮駅前から本町通り）**

事業主体：**一宮市が事業主体**として道路整備を実施
※商店街の道路整備に関する費用負担はない

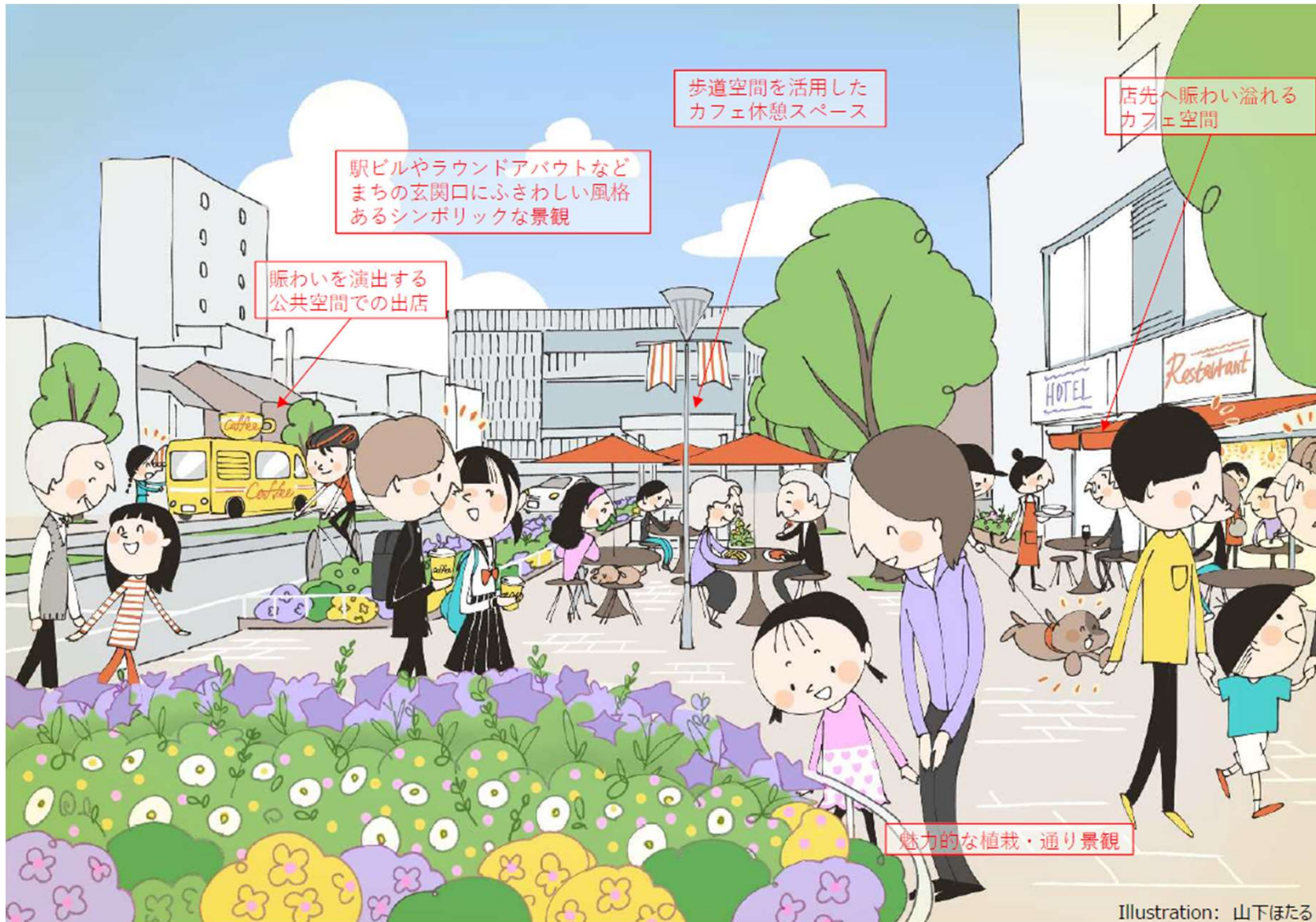
検討内容：**道路全体の舗装、歩道部の設え、ラウンドアバウト**など

交通規制：**現在と同じ交通規制、道路構造**を前提とする

銀座通りのデザイン方針について

駅から街へ人々を誘い、一宮の顔となる風格と親しみのある

「市民広場」通り (一宮まちなか未来ビジョンより)



銀座通りのデザイン検討におけるポイント

- ① 一宮に訪れ最初に目にする通りにふさわしい
風格のある街路景観
- ② このエリアの回遊の起点となる、
日常的に居心地のよい歩行／滞在環境の充実
- ③ 土地利用／都市機能の誘致や集積につながる、
通りの活用に向けた設え

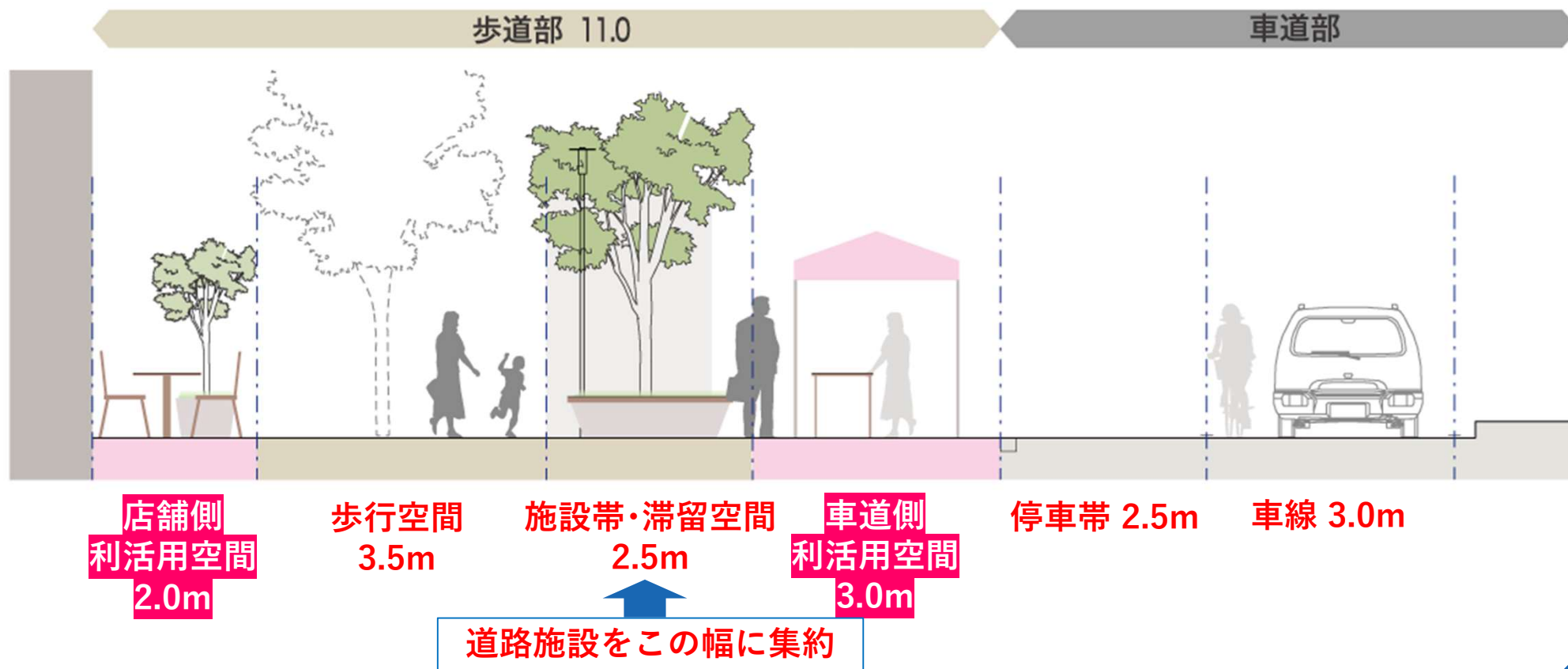
2. 銀座通りのデザイン方針 (検討状況)

道路断面の計画

※議論のための検討資料であり
決定事項ではない

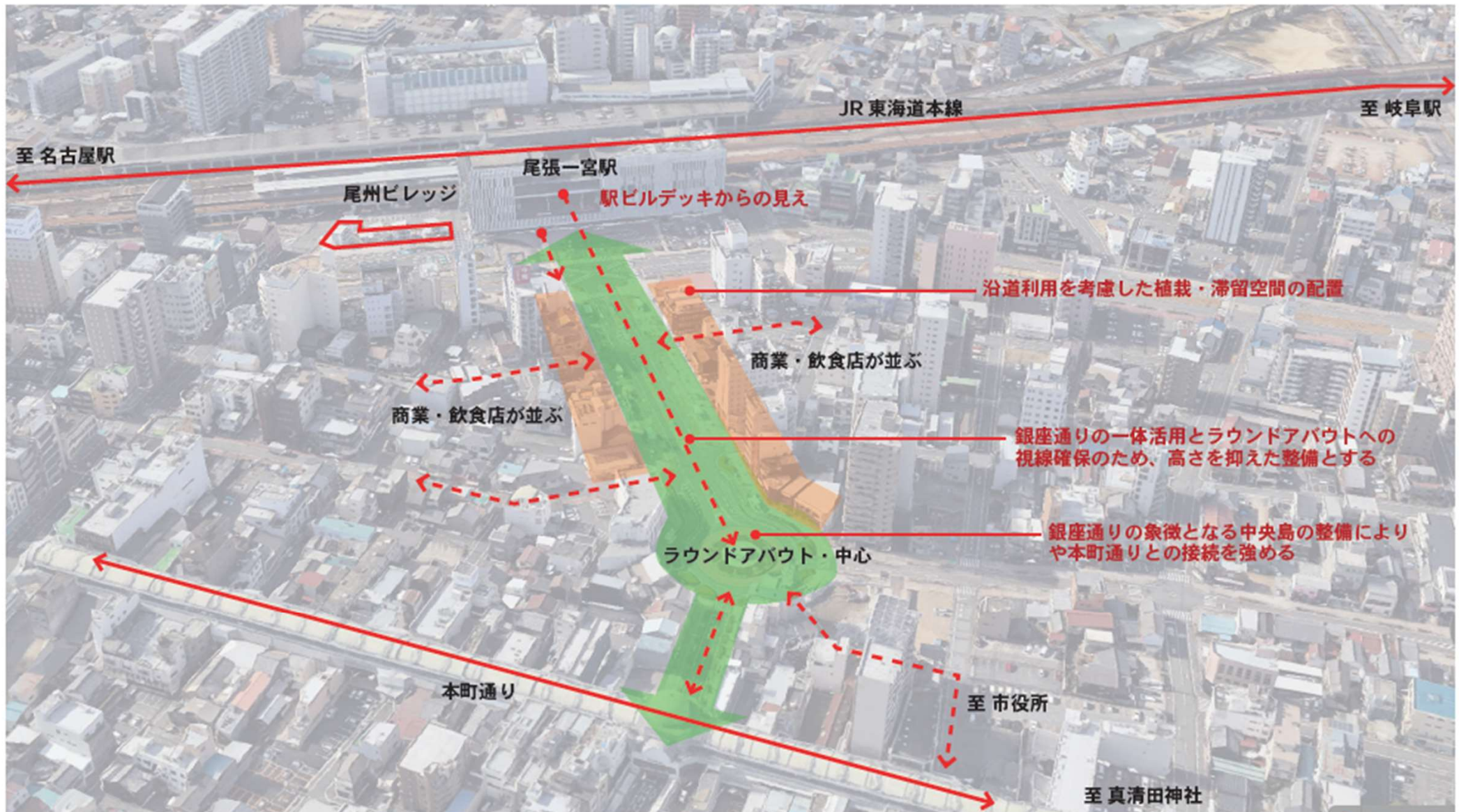
- 現在の広い歩行空間を有効に活用するため、植栽や道路施設を整理し、「店舗側利活用空間」「車道側利活用空間」「歩行空間」「施設帯・滞留空間」の4つの空間に整理
- それぞれの機能にふさわしい設えやデザインを検討

■道路断面の計画（歩道部11mの場合）



銀座通りの空間の考え方

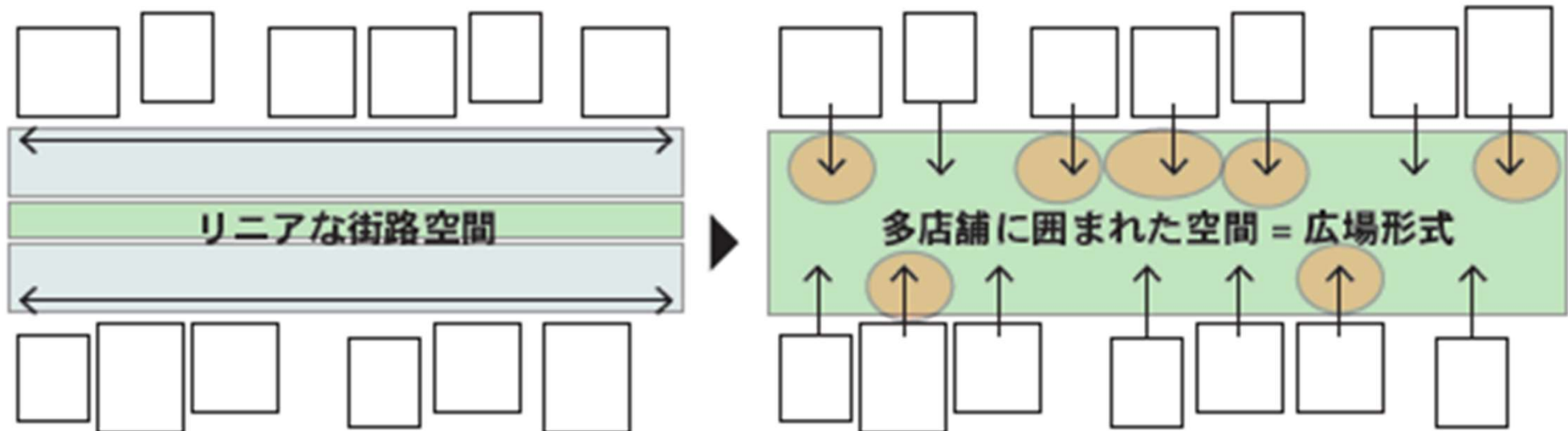
※議論のための検討資料であり
決定事項ではない



銀座通りの空間の考え方

※議論のための検討資料であり
決定事項ではない

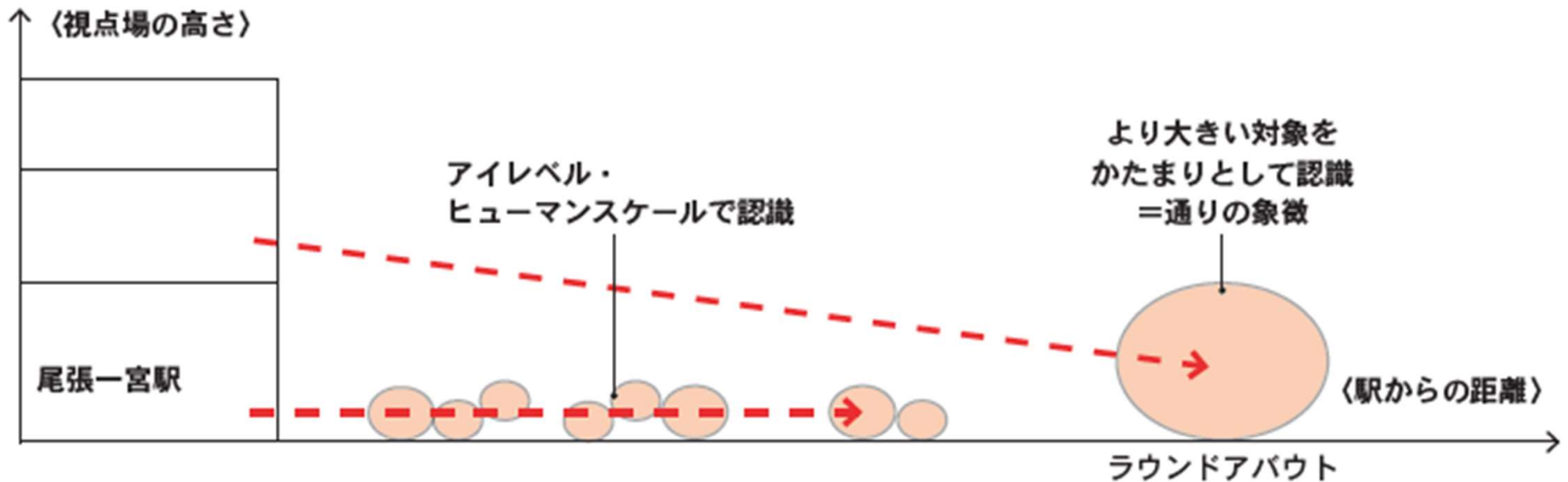
- 街路空間としての風景は大事にしつつも、**沿道の様々なお店を広場空間として、小さな居場所を作る**デザインを検討
- 沿道のお店との関係づくりや、周辺で暮らす人の小さな井戸端として成立する場所に



銀座通りの空間の考え方

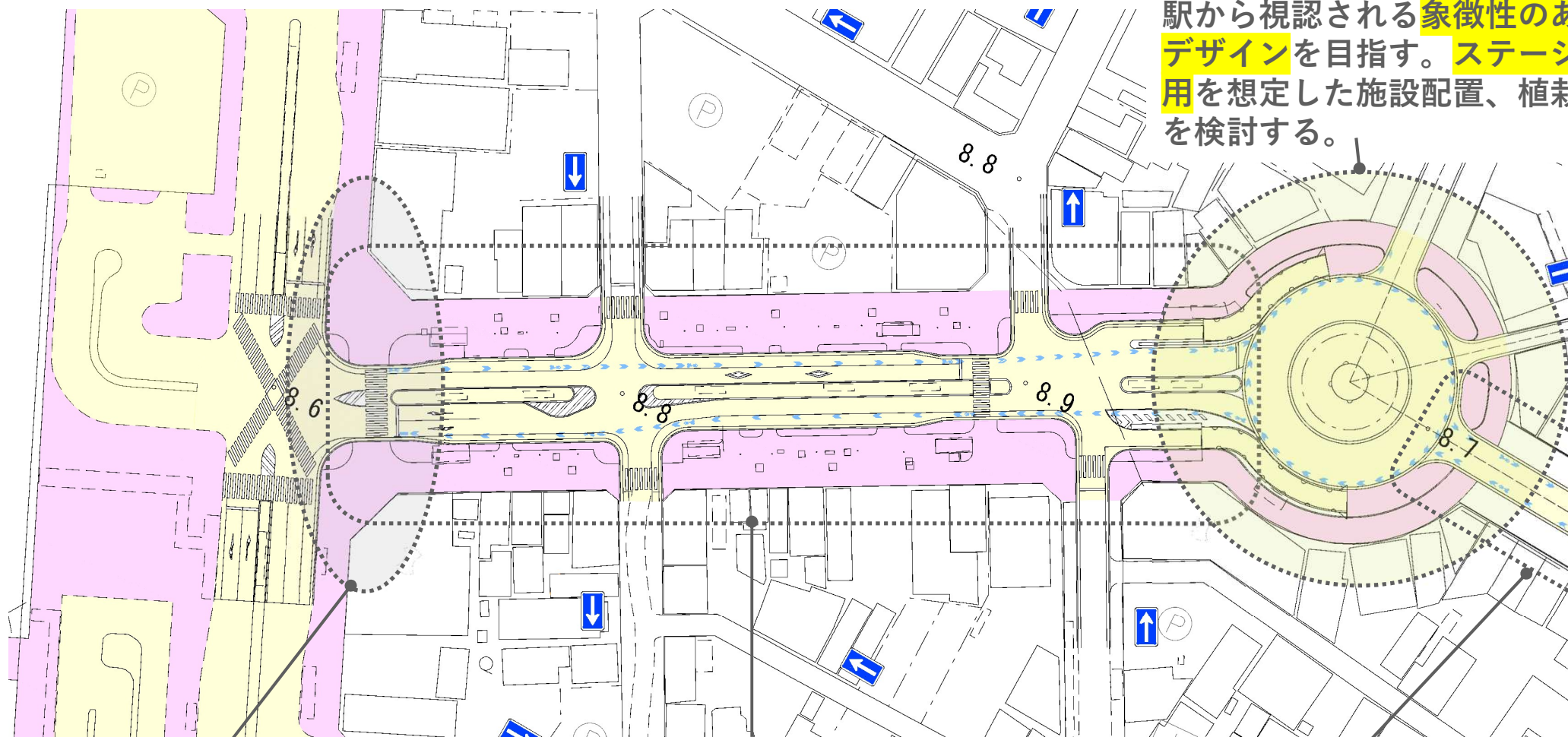
※議論のための検討資料であり
決定事項ではない

- 通り全体はヒューマンスケールで考え、**歩いている人の目線でデザインを検討**
- ラウンドアバウトは**銀座通りの象徴**としてとらえる



通りのゾーニングの考え方

※議論のための検討資料であり
決定事項ではない



③ 象徴性のある ラウンドアバウト

駅から視認される象徴性のある
デザインを目指す。ステージ利
用を想定した施設配置、植栽等
を検討する。

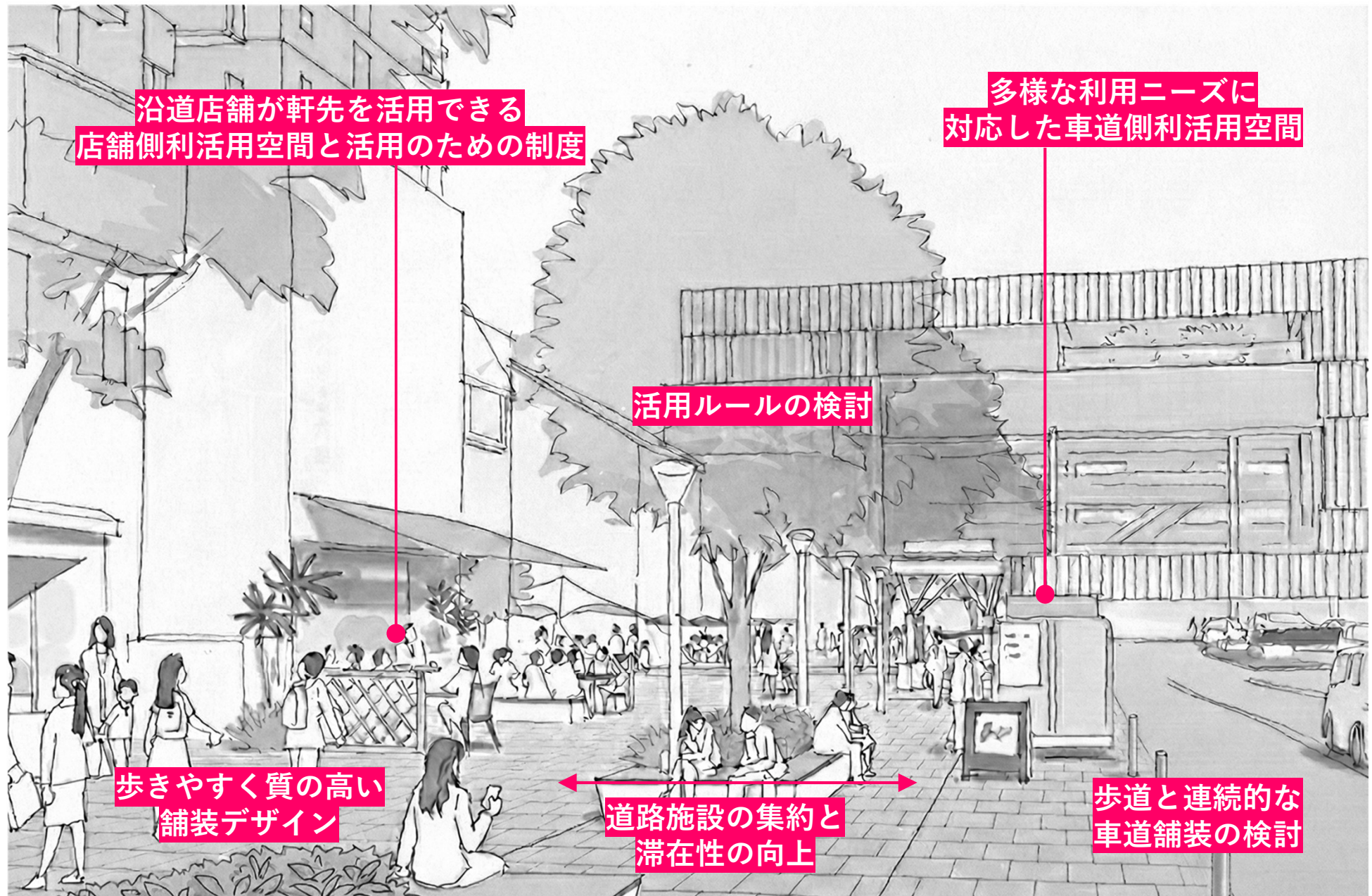
① 駅からの玄関口
街路樹や滞在施設によ
り歩行者を出迎える空
間を形成する。

② 多店舗に囲まれた
広場の集合体
沿道店舗との関係を持
ちながら、日常的な滞
在と活用をうながす。

④ 本町通りとのつながり
本町通りとのつながり
を意識した、街路デザイン
を検討する。

歩行空間のデザイン

※議論のための検討資料であり
決定事項ではない



滞留空間のデザイン

※議論のための検討資料であり
決定事項ではない

- 地下駐車場からの**歩行者用出入口にかかるとる屋根を広く滞留空間**とする
- 滞留空間として、夏の暑さや雨をしのげる構造を検討する
- 実現にあたっては、**日常的な維持管理も含めて具体化**を行う必要がある

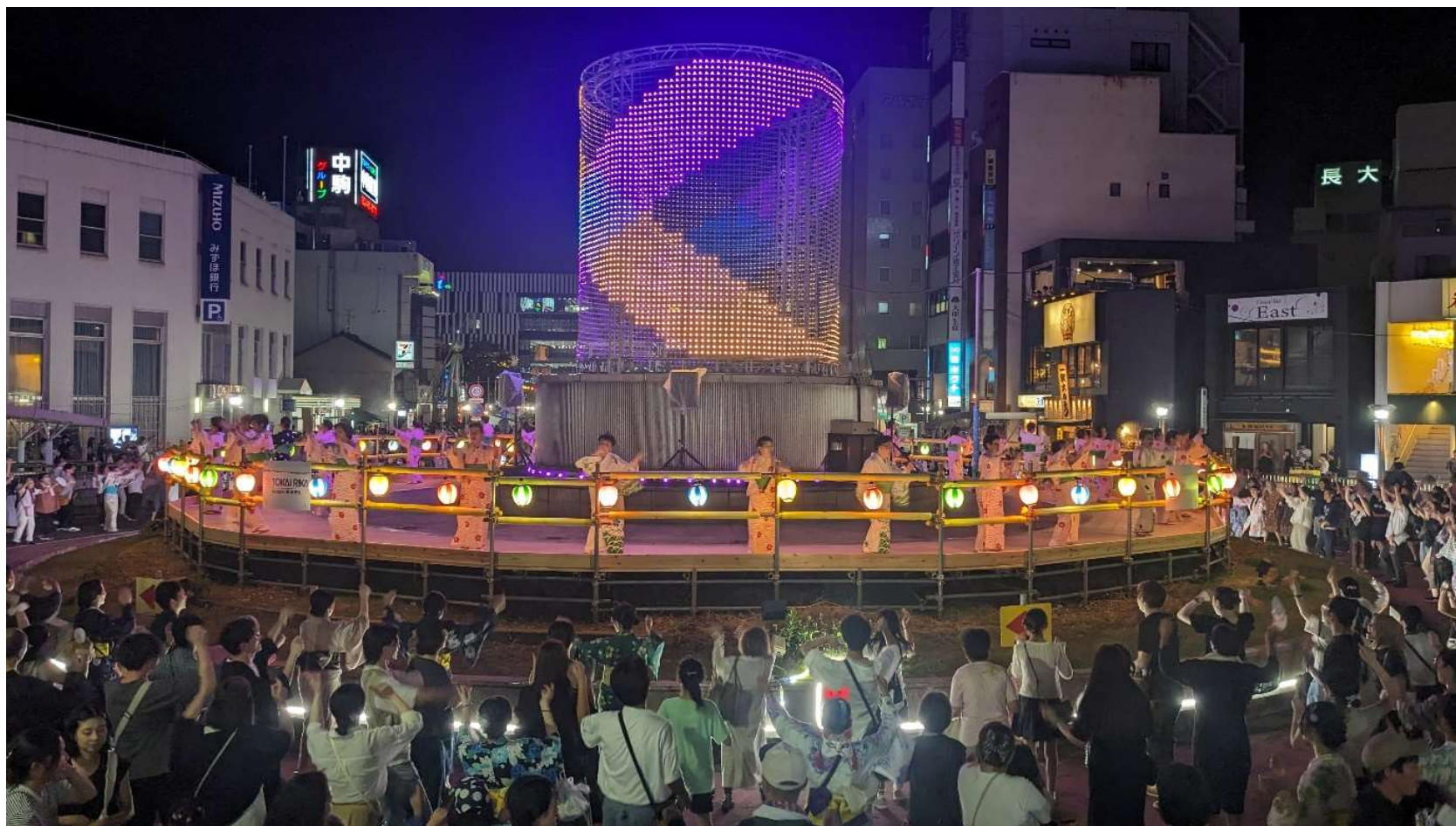
滞留空間のイメージ



ラウンドアバウトのデザイン

※議論のための検討資料であり
決定事項ではない

- 大規模イベント等を行う際に**ステージとして利用**できるデザインを検討中
(実際の形状や実現性は警察等との協議に基づく)



本日もご意見いただきたいこと

- 銀座通りの道路デザインの方向性に対するご意見
 - 大事にしたいこと、気になること、
具体的なデザイン等に関するご意見
- その他の設備や活用等に関するアイデアやご意見等
 - 沿道店舗による利用のアイデアや提案
 - 他の活用や設備に関するアイデア・ご意見